

# コンクリート工法を追求 被災地に緑25万本植える

## 安藤忠雄さんが受賞

民間の社会奉仕団体、大阪キワニスクラブが五年に一度、大阪を拠点に日本文化の向上、発展に貢献した個人や団体に与える、第四回キワニス大阪賞に、建築家の安藤忠雄さん(左)が選ばれた。授賞理由は「コンクリート打ち放しという新しい素材と工法を追求し、世界を舞台に活躍してきたほか、阪神大震災では「ひょうろりん・ネットワーク」運動を通して、被災地に二十五万本の緑を植えるなどの震災復興に貢献したことなど。これまで国立民族学博物館顧問の梅植忠文さん、指揮者の朝比奈隆さん、落語家の桂米朝さんが受賞している。



キワニス大阪賞を受賞した安藤忠雄さん

### 副賞でネパールの子に絵本

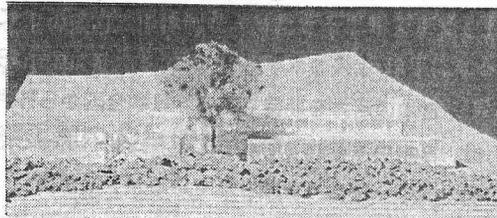
安藤さんは副賞の百万円で絵本を買い、ネパール・プトル市に建設中のごども病院に贈る予定だ。ごども病院は、阪神大震災でアジア

・アフリカの途上国から寄付された救援へのお返しとして民間からの募金を基に、国際医療NGO(非政府組織)のAMDA(アジア医師連



「安藤さんは「いたいた黄金で、アジアの子どもたちに文化的な貢献をしたい」と思いました。二十一世紀を支える世界のごどもたちが元気に育っていくための基礎をつくらなければならない役割。また、建築家として、建築が完成した後もういっ

絡協議会、本部・岡山市)などが建設を進めている。安藤さんはその趣旨に共感し、無償で設計を引き受けた。鉄筋コンクリート造り二階建てで、今年十月に完成する予定。AMDAによると、ネパールは五歳未満児の死亡率が日本の約二十倍もあるが、小児専門病院は一つしかない



安藤忠雄さんが設計したネパールのごども病院の模型

な形がかかわっていく必要性も感じています」と話している。

安藤さんはより多くの絵本をネパールに届けたいと、自治体や民間に呼びかけている。連絡先は安藤忠雄建築研究所(〇六一三七五一二四)へ。